

2022年企業グループ別 ゴルフ場保有ランキング

アコーディア・ネクストゴルフグループが連続1位に 中堅企業の動き活発

本誌姉妹紙の『隔日刊ゴルフ特信』では、毎年、ゴルフ場企業の保有ランキングを発表している。今回は、前年に引き続きコロナ禍ながら中堅企業において買収、売却による変動が目立った。上位20位までを速報する。

上位5位不動も、3位西武グループは今年9月に10コース売却予定

2022（令和4）年4月1日時点のゴルフ場を保有する企業グループランキング（国内既設ゴルフ場のホール数基準）をみていくと、トップは前回と同様にアコーディア・ネクストゴルフ（A・N・X）グループだった。コース数は169コース、ホール数は3562ホール（以下、H）。グループの内訳は（株）アコーディア・ゴルフ（A・G）が43コース918H、アコーディア・ゴルフ・アセット合同会社（A・G・A）が89コース1888H、ネクスト・ゴルフ・マネジメント（株）（N・X）が37コース756Hとなっている。

（株）アコーディア・ゴルフが今年1月31日に、ソフトバンクグループ傘下の米ファンド、フォートレ

ス・インベストメントグループが、M・B・Kパートナーズグループからアコーディアグループの株式取得完了を発表した。コロナ下の大きなニュースだったが、アコーディアグループのゴルフ場買収、売却は昨年4月2日から今年4月1日までの間、1コースもなかった。もつとも、親会社交代によりフォートレスのマネージング・ディレクターが常勤取締役となることから、フォートレスが所有する大規模なホテル事業ブラッドフォードとの協業を通じて新たな客を創出し、ゴルフ業界のさらなる発展のため引き続き努力していく。また、これまでと同様に、積極的なゴルフ場・ゴルフ練習場の取得でグループの規模拡大を進める」という。

続いて2位グループは、平和・PGMグループで変わらず。この1年間では、オールドオーチャードGC（18H、千葉）を買収し145コース3168H。前回アコーディアグループ4コースを取得したのに比べると、動きとしては大きくない。しかし、グループゴルフ場を、着実に、拡大している。3位は西武グループが29コース

675Hで前年と同じランク。4位の市川ゴルフ興業グループは31コース585Hと前年と変わらず、ランクもそのままだった。5位の東急グループもコース数、ホール数、ランクともに前年と同じ25コース504Hで変わっていない。このように、上位5位までの順位に変動はなかった。

ただ、3位の西武グループについては、資産流動化を図るため、ホテル、ゴルフ場、スキー場の一部施設をシンガポール政府投資公社の子会社に約1500億円で売却すると今年2月に発表しており、9月にも資産譲渡を実行する予定となっている。

アセットライトな事業運営として、資産を売却して運営受託するものと、継続保有するものとに峻別しており、資産売却の対象となったゴルフ場は北海道から宮崎までの計10コース。その10コースのゴルフ場名称は、2022ゴルフ場企業グループ国内既設ゴルフ場保有ランキング表の「この1年間の動向と今後の見込み」に載せている（29ページ参照）。

売却コースはその後同グループが運営を受託する。ちなみに、

売却完了後の保有コース数、ホール数は19コース351Hで、今回のランキングにあてはめると6ランクダウンの9位になる。

バンリユーゴルフの拡大、チエリーゴルフグループの縮小

太平洋グループは、前回も触れたが日本製鉄(旧・新日鉄)グループから金乃台CC(18H、茨城)を引き継ぎ、昨年5月より運営開始したことから、トータル19コー

ス369Hになった。ランキングは、今回変動のなかったシャトレーゼグループと入れ替わり、6位に浮上した。公約の「国内20コース」が目前に近づいている。

前年13位のバンリユーゴルフは今回15コース288Hで11位にランクアップした。同社は2014年に徳山CC(27H、山口)で初進出し、19年に8ランクアップの16位と躍進。その後もコンスタントにゴルフ場を増やし続け、今回

はグループ第一号の徳山CCをグループ初となる事業譲渡で手放したが、その一方で3コースも買収。拡大路線に変更はない模様だ。

バンリユーゴルフと対照的に、縮小の一途を辿っているのが、チエリーゴルフグループである。

チエリーゴルフグループはこの1年の間にチエリーGC吉和の森C(18H、広島)を売却し15コース270Hとなり2ランクダウンの13位。同グループは2014年

に23コース423Hで7位となったのをピークに、数年間の横ばいを経て減少が続いている。

上位ランク外でも、ノザワワールドのように1コース売却する一方で3コース買収するなど、変化がみられた。ゴルフ場企業グループのそうした動向や、保有・運営コース一覧は、一季出版(株)から今夏発行予定のゴルフ特信資料集『2022年ゴルフ場企業グループ&系列』でまとめる。

ゴルフ場企業グループゴルフ場保有ランキング推移(国内既設H数)

2000年			2005年			2010年			2022年		
ラン	グループ名	コース数	グループ名	コース数	H数	グループ名	コース数	H数	グループ名	コース数	H数
1	西武グループ	42	ゴルフドワン・サックス	85	1,800	フコチエフ	131	2,761	フコチエフ・ネクスゴルフ(ANX)	169	3,562
2	日東興業グループ	30	ローンスター	78	1,737	PGMグループ	123	2,691	平和・PGMグループ	145	3,168
3	スポーツ振興	30	西武グループ	46	1,134	オリックスグループ	38	774	西武グループ	29	675
4	東急グループ	29	富士カントリーグループ	19	477	西武グループ	28	675	市川ゴルフ興業グループ	31	585
5	日本ゴルフ振興	28	東急グループ	24	468	市川造園土木	29	579	東急グループ	25	504
6	富士カントリー	22	市川造園土木	20	396	東急グループ	28	558	太平洋グループ	19	369
7	地産グループ	16	太平洋グループ	18	351	ユニマックスグループ	22	414	シャトレーゼ	18	360
8	緑豊グループ	18	ミサコグループ	16	297	太平洋クラブ	17	333	GCEグループ	14	324
9	大洋緑化グループ	14	大洋緑化グループ	14	279	明智GC・房総CCグループ	10	297	ユニマックスグループ	18	324
10	太平洋グループ	13	新日本観光グループ	9	243	リゾートトラスグループ	12	270	明智GC・房総CCグループ	10	297
	外資系		外資系	188	4,050	外資系	320	6,838	外資系	231	4,786
	韓国系		韓国系	11	216	韓国系	45	900	韓国系	45	882
	その他外資		その他外資	177	3,834	その他外資	275	5,938	その他外資	186	3,904

注:グループ名はランキング当時

2022ゴルフ場企業グループ国内既設ゴルフ場保有ランキング

国内既設 ラング 2022	2021	グループ名	2022年 国内既設		2021年 国内既設		増減		この1年間の動向と今後の見込み(括弧内はホール数) ◆は現状営業休止中(保有に含む)、△は増加、▽は減少、▲は増加予定、▼は減少予定 ソフトバンクグループ傘下の米フアンダ・フオートリス・インベスメントグループ。 2019年版から3社グループを統合して集計 保有は18H換算51コース、AGA含む保有コース数は132コース2806H 保有は18H換算104・9コース 18H換算42コース △オールドオーチャードGC(18)、※ローレル/バレイGC(27→18) ▲北海道CC大沼コース(18)、富良野Gコース(36)、女満別Gコース(18)、上士幌G場(36)、若手沼宮内CC(36)、栗石G場(36)、嬬恋高原G場(18)、大原・御宿Gコース(18)、竜王Gコース(18)、日南甲間Gコース(18) 市川金次郎氏の個人事業で従来の市川造園土木グループとは独立して展開 ※榊マルハンの子会社、△金乃台CC(18) ◇キヤスコ花葉CLUB空港C(18)は2019年12月より改修工事のため休場 ※21センチュリーC雷岡C(18)は取得後に閉鎖、△マナGC(18) △姫路相生CC(18)、広島紅葉CC(27)、せんCC(18)、▽徳山CC(27)、前年度比2コース増 ▽チェリーGC吉和の森C(18、現・広島吉和の森GC) ※2020年1月までに米国の17コースを傘下に ▽JGMセパリステロクスGCいわき(18)は営業再開を断念、※棚倉ステークスCC(18)は取得後に閉鎖 内訳は韓国系45コース882H(3コース増54H増)、その他外資186コース3904H・閉鎖中の韓国系2コース含まず
			コース数	H数	コース数	H数	コース数	H数	
1	1	フコデーブ・ネクストゴルフ(ANX)	169	3,562	169	3,562	0	0	
		フコデーブ・ゴルフ(AG)	43	918	43	918	0	0	
		フコデーブ・ゴルフ・アセット 合同会社(AGA)	89	1,888	89	1,888	0	0	
		NX(元・OGM)グループ	37	756	37	756	0	0	
2	2	平和・PGMグループ	145	3,168	144	3,150	1	18	
3	3	西武グループ	29	675	29	675	0	0	
4	4	市川ゴルフ興業グループ	31	585	31	585	0	0	
5	5	東急グループ	25	504	25	504	0	0	
6	7	太平洋グループ	19	369	18	351	1	18	※榊マルハンの子会社、△金乃台CC(18)
7	6	シャトルゼ	18	360	18	360	0	0	
8	8	GCEグループ	14	324	14	324	0	0	◇キヤスコ花葉CLUB空港C(18)は2019年12月より改修工事のため休場
8	9	ユニマツトグループ	18	324	17	306	1	18	※21センチュリーC雷岡C(18)は取得後に閉鎖、△マナGC(18)
10	10	明智GC・房総CCグループ	10	297	10	297	0	0	
11	12	リゾートトラスト	13	288	13	288	0	0	
11	13	バンリュエーゴルフ	15	288	13	252	2	36	△姫路相生CC(18)、広島紅葉CC(27)、せんCC(18)、▽徳山CC(27)、前年度比2コース増
13	11	チェリーゴルフグループ	15	270	16	288	-1	-18	▽チェリーGC吉和の森C(18、現・広島吉和の森GC)
14	14	東京建物	12	243	12	243	0	0	
14	15	新日本観光グループ	9	243	9	243	0	0	
16	16	リソルグループ	11	234	11	234	0	0	△彦津GC(18)、※▽高松CC(18)がすでにグループを4年近く前に離脱、これにより1増1減で増減なし
17	17	川島グループ	11	216	11	216	0	0	
18	19	韓国産業洋行(エイチ・ジェイ)	9	207	9	207	0	0	※2020年1月までに米国の17コースを傘下に
19	17	JGM(ロイヤルGC)グループ	10	198	11	216	-1	-18	▽JGMセパリステロクスGCいわき(18)は営業再開を断念、※棚倉ステークスCC(18)は取得後に閉鎖
20	20	加森観光	9	189	9	189	0	0	
【外資系】トータル			231	4,786	228	4,732	3	54	

2022年4月1日段階、更生法・再生法でのスポットサー内定段階(手続中)のゴルフ場はスポットサー側のグループに集計していない